

勝浦中学校林業体験

林野庁 関東森林管理局 千葉森林管理事務所

令和3年11月4日に勝浦中学校2年生（101名）が、勝浦市の妙見山国有林で、勝浦市「郷育プロジェクト」の一環として林業体験の下刈（したがり）作業を行いました。この場所は、昨年度2年生（現在の3年生）が地拵と植栽を行った箇所で、今回が初回の下刈となります。

当日はクラスごとに分かれて「下刈」と「森林教室」を実施しました。

下刈では専用の大型の鎌を使用するため、生徒たちは、はじめに鎌研ぎの必要性や注意点の説明を受け、2人一組で注意しながら一生懸命に研いでいました。

作業にあたって作業内容の説明を受け「足元よし！安全作業でいこう！」と全員で声を合わせて安全確認を行い、十分な間隔をとって下刈に取りかかりました。はじめは下刈鎌を上手に扱えなかった生徒たちも、しばらくするとコツを覚え背丈よりも大きなススキなどもきれいに刈り払っていました。

生徒たちからは、「こんな大きな鎌をはじめて持った。」「思うように草が刈れなくて大変だった。」「腕が疲れて大変な作業だということがわかった。」などの感想が聞かれました。

森林教室では、森林インストラクター講師から森林の機能や植物の見分け方、林業に関する豆知識などを教わり、生徒たちは興味津々に聞いたり、植物に触れたりしました。

これからもこのような機会を利用して、地域の皆さんから森林・林業・環境に理解を深めてもらえるように取り組んでまいります。



下刈体験をする生徒



2人組での鎌研ぎ



森林インストラクターによる森林教室



勝浦中学校2年生の皆さん